国土交通省
道企第1446号
19.5.31

広道計第３４号
平成１９年４月２７日

国土交通省道路局長　様

広島市長　秋葉　忠利
(道路交通局道路部道路計画課)

中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成 19 年４月２日付け　国道企第１１４号で依頼のありました標記の件について、別添のとおり提出します。

（問合せ先）
広島市道路交通局道路部道路計画課
担当 福田（電話）082-504-2361
（Fax）082-504-2134

意　見

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

【重点化を進める上で特に優先度の高い政策】

広島市では、自動車に過度に依存するこれまでの交通体系を見直し、道路と公共交通の持つそれぞれの役割を考慮しつつ、交通体系の軸足を公共交通へシフトしていくべきと考えており、こうした考えのもと「ひと・環境にやさしく、活力ある広島の交通体系づくりをめざして」を政策理念として掲げています。

本市としては、この政策理念を実現するため、次の３つの施策を重点に取り組んでいます。

◆ 安全で安心な暮らしを支え、環境にやさしく、都市の活力を高める取り組み

・公共交通の「生活インフラ」としての充実・強化
・高速性・定時性を備えた「経済インフラ」の整備
・人にやさしい交通環境づくり

◆ 都心の魅力づくりを支え、回遊性・賑わいを創出する取り組み

・「行きよい」都心をつくる交通環境の整備
・都心の回遊性、賑わいをつくる交通環境の整備

◆ 交通需要マネジメントや既存ストックの有効活用、民間活力を重視した取り組み

【効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと】

本市としては、次の２点を特に重視して取り組んでいます。

◆ 入札・契約制度の改善

入札・契約制度の基本方針の一つとして、透明性、客観性、競争性を確保し、業者間の適正な競争を通じて「より良いものをより安く調達できるシステム」の構築を掲げている。
今後も引き続き、さらなる制度改善に向けた検討を行っていく。

◆ アセットマネジメントの推進

既存ストックの有効活用の観点から、橋りょうの計画的な点検・補修等による「延命化」を図り、維持管理から補修・架け替えまでのトータルコストの縮減を目指す。